

## 細江カトリック教会だより

## 5月

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

## 信徒の霊性

5月は若葉の美しい季節です。近くの山では、若葉をつけた木々がまるでブロッコリのような形でモコモコ盛りあがっています。5月は聖母の月ですから、聖母マリアさまとともに復活節の喜びを全身で受けとめましょう。

ルカ福音書24章に伝えられるエマオの弟子たちの物語では、失望と恐れからエルサレムを逃げ出した二人の弟子たちに、復活の主イエスがともに歩み、聖書を説きあかされました。目指す村に着いたとき、二人は主を強いて引きとめ、一緒に泊まるように願います。そして主が夕食の席でパンを割いて与えたとき、彼らの目が開け、それが主であることを知りました。もう主は見えなくなったけれど、二人はこの喜びを一刻も早く仲間たちに伝えようと、夜の道をエルサレムに引き返しました。

このエマオの弟子たちは、現代の教会の姿を表しているかのようです。テロや戦争におびえ、軍拡や環境破壊の進む世界で、教会はどのように平和の使徒となることができるのでしょうか。司祭や修道者が減少し、高齢化が進む日本の教会は、これから先どのように社会に福音を宣べ伝える使命を果たすことができるのでしょうか。私たちも不安に駆られます。そこで忘れてはならないのは、復活の主が私たちとともに歩んでくださっていることです。復活の主に悩みを打ち明け、主からみことばを聞き、主から力をいただきましょう。

これからは、信徒たちが協力して教会の使命を担う時代です。そして、信徒が宣教と司牧の役割を担うためには、エマオの弟

子たちのように、イエスとともに歩み、イエスからみことばを受け、力をいただかなければなりません。

言い換えれば、信徒の教会は深い霊性をもった共同体でなければなりません。「霊性」とはむずかしい言葉ですが、要するに「信仰のあり方」のことで、主キリストの福音をどのように生きているかを言います。

霊性に成長するためには、ただ信じていればよいというのではなく、やはりイエス・キリストの福音をしっかりと理解していること、自分の理解を内省し、仲間たちと話しあって、信仰の狭さや一人よがりや偏りを正すこと、絶えず主キリストから導きをいただくことが大切でしょう。

霊性は多様です。人の顔が皆違っているように、神さまのかかわりは一人ひとり違っています。社会や文化、人の生い立ちや性格、受けた教養や携わっている仕事、周囲の人々との交わりなどによって違っています。しかし、共同体は多様な霊性を大事にし、互いに受け入れ、支えあうときにより豊かに成長します。

信徒の霊性は、修道者の霊性とは違って、現実社会や結婚生活の中で福音を生きることを通して築かれます。だから信徒は、現代の日本社会に一層適した仕方で、福音宣教や司牧の勤めを果たすことができるでしょう。

一人ひとりが主イエスとのより深い交わりに生き、主の導きによって歩むことができますように。そして、エマオの弟子たちが喜びの知らせを仲間たちに告げようとして夜道を帰っていったように、私たちも世の人々に喜びと平和の福音を告げるために勇気と力をいただけますように。聖母の取りつぎによって、この恵みを祈りましょう。

百瀬 文晃 神父

## 「教会へのチャレンジ」 の取り組みについて

新年度が始まり、教区年間テーマ「教会へのチャレンジ」がスタートしました。一年目は「祈る使命」(祭司職・典礼)の副題がつけられています。

「教会だより」4月号で、主任神父様がその内容を分かりやすく説明されていますので、ぜひ再読をお願いいたします。

さて、当共同体での取り組みとして、1. 名札を着用 2. 典礼の充実が先の宣教司牧評議会で提案されました。

名札の着用は、いつもお会いするのに名前がわからないという声を反映して、意思疎通がスムーズにいくことを目指しています。

典礼の充実は、典礼の中での朗読の研修を再度行いたいと提案するものです。

私どもの共同体も高齢化がすすんでいますが、神父様がミサの中でお話しになった「信徒の教会」を实践すべく、希望をもっていろいろなことにチャレンジしてみたいと考えています。

その中で「地区会の充実」を計ることの大切さを思います。地区会の中で、意見を出し合って、ぜひ宣教司牧評議会に提案してください。

一方、常任委員会からも各地区に提案させていただくことがあると思います。それに対してのご検討もよろしくお願いいたします。

私たちの教会、信徒の教会を目指し、共にチャレンジしてみましょ。

信徒代表 大住 昭夫



## 地区だより II

この時期になると、自分の信仰の弱さを感じます。

毎年、乙女峠巡礼に参加することもあるが、主を信じ自分の信仰を守りとおした殉教者を思うと・・・また、その時代に生きていたら自分の信仰を守れたか・・・を思うと、

自分の弱さを感じます。自分が信者であることを忘れ、日々の生活を送ってないか。毎日曜日の主日のミサに与り、信者であること、主のお恵みをたくさんいただいていることを再確認しています。日々の生活の中で、主の存在を感じ、主が共にいてくださることを忘れることがないよう、殉教者に習い同じ信仰者として祈り続けたいと思います。

中央地区 白濱 幸一

## 聖週間

### ◇受難の主日(枝の主日)4/9



\* 枝の祝福と  
ホールから  
行列を行う。



### ◇聖木曜日(最後の晩餐)4/13



\* イエス、弟子の足を洗う。  
『わたしは仕えられるためではなく、仕えるために来た』

\*ご聖体を小聖堂の聖櫃へ。洗足者と共に祈る。



### ◇聖金曜日(主の受難)4/14



\*キリストの受難と死を思い起こす主の受難の祭儀。ことばの典礼・十字架の礼拝・交わりの儀と続きます。

### ◇復活の聖なる徹夜祭 4/15(土)

\*この日の典礼は「光の祭儀」、「ことばの典礼」「洗礼と堅信」、「感謝の典礼」の4つの部分で構成されています。「火」「水」「復活ろうそく」・・・キリストの復活と新しいのちを象徴するシンボルが用いられます。



### ◇洗礼式

\*受難と死を通して復活したキリストの過

ぎ越しにあずかり、一人ひとりが古い自分に死んで、復活したキリストの新しいのちに生まれる・・・この洗礼式を通して自らの洗礼を思い起こし、神の子として生きる決意を新たにします。

☆復活徹夜祭で受洗された  
眞浦可菜絵さん、眞浦光さん  
おめでとうございます！！



\*百瀬神父さまを挟んで左に可菜絵さん、右に光さん。お母さん、代母代父と神さまの恵みと共に。

### ◇ローザ眞浦可菜絵さん

たくさんの方々に支えられ洗礼を受けることができました。皆さまに「おめでとう」と、あたたかく声をかけていただいたときは、とても嬉しかったです。

ただ毎日を過ごすのではなく、感謝の心を忘れずに日々の生活を大切にしようと思います。まだまだ学ぶことも多いですが、少しずつ歩んでいこうと思いますので、よろしく願いいたします。

### ◇フランシスコ眞浦光さん

復活祭の時、たくさんの方から祝福を受け、洗礼を受けることができました。これからもよろしく願いします。



**復活祭 4/16****\*ご復活**

おめでとう

ございます！！と、

百瀬神父さまの挨拶で祝賀会が始まりました。

こ



この日の復活主日のミサは、中井神父さまが司式されました。祝賀会での挨拶の中・・・

おいしいワイン

と子牛を探す親牛「もう～、もう～」という鳴き声は・・・神さまが私たちを探している声、神さまの道具になりたい。平和の道具になれるように・・・とのお話しが印象深く、楽しいひと時でした。

**お帰りなさい！！中井淳神父さま**

細江教会の皆さん、こんにちは。みなさんにあたたかく送られて細江教会を発ってから4年、4月7日に釜山よりのフェリーで再び下関の地に戻ってきました。これからは丘の上の労働教育センターの所長として働き始めます。教会が沖へ漕ぎ出し、社会の底辺にいる人々に連帯するための手助けになればと願っています。4年間は、みなさんの祈りに支えられ、励まされながら、2年半のアメリカ、1年間の韓国、半年のオーストラリアで恵みの時間を過ごすことができました。

成長したかどうかといわれると自信

はありませんが、心の中にたくさんの宝物ができたということは確かです。これからその宝物をみなさんにわかちあいながら、みなさんと一緒に新しい宝物を日々の生活の中に探していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

中井 淳 神父

**天使幼稚園の新しいスタッフの紹介****\* 関谷奈恵先生(左)**

この春から下関天使幼稚園の一員として働かせていただいています、すみれ組の関谷奈恵です。笑顔で元気いっぱい頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

**\* 北山千明先生(右)**

今年の4月から、うめ組を担当させていただいています。今年度はモンテッソーリ教育の勉強をしながら子どもたちとかかわらせていただきます。よろしくお願ひします。



\* 河村幸登 (かわむらゆきと) さん  
心優しい幼稚園バスの運転手。